

承認番号 RD6207-026

文書番号 15081871

平成 27 年 8 月 4 日

## コークボンド試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

## 1. 目的

アクリルエマルジョン系コーキング材「コークボンド」の接着性能評価試験を行なった。

## 2. 試験項目

一般性状

ダンベル引張試験

簡易接着性試験

## 3. 試験方法

### 3-1. 一般性状

#### 3-1-1. 粘度

JIS K 6833 に準拠し、BH 型粘度計を使用し、ローター No.:7 号 回転数:10rpmで測定を行う

#### 3-1-2. 不揮発分

JIS K 6833 接着剤の一般試験方法に準じて、不揮発分の測定を行う。

#### 3-1-3. 比重

JIS A 5785 建築用シーリング材に定められた試験方法に準じて比重の測定を行う。

#### 3-1-4. タックフリー測定

標準状態(23±2℃、50±10%RH)で3mm厚のシートを作り、タックフリーを測定した。

### 3-2. ダンベル引張り試験

#### 3-2-1. 試験体の作製

1.5mm厚のシートを作製し、下記(2)の養生条件で養生後、JIS K 6301 に規定される一号ダンベルを打ち抜いたものを試験体とした。

#### 3-2-2. 養生条件

標準状態で72時間養生後、30℃雰囲気下で168時間

#### 3-2-3. 測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 500 mm/min にて測定を行なった。

### 3-3. 簡易接着性試験

#### 3-3-1. 試験体の作製

各種下地材の上にコークボンドをビート状に塗布したものを試験体とした。

#### 3-3-2. 養生条件

標準状態で72時間養生後、30℃雰囲気下で168時間

#### 3-3-3. 測定方法

コークボンドを手で引張り、下地に対する接着性を確認した。

## 4. 試験結果

### 4-1. 一般性状

	一般性状
外観	ペースト状
粘度 (mPa. s)	80,000
不揮発分 (%)	81.8
比重	1.52
タックフリー	30分

### 4-2. ダンベル引張り試験

破壊強度 (N/mm <sup>2</sup> )	0.8
伸び (%)	525

### 4-3. 簡易接着性試験

ケイ酸カルシウム板	下地材表層破壊
石膏ボード	下地材破壊
塩ビクロス	僅かに界面のある凝集破壊
フレキシブルボード	凝集破壊

## 5. 考 察

本結果より、コークボンドは、シール材としての性能は有していると考えます。

以 上

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行う為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討ください。

作成：平成 9 年 12 月 10 日（文書番号：971222G4）

改訂：平成 25 年 5 月 2 日（文書番号：13059073）

改訂：平成 27 年 8 月 4 日（文書番号：15081871）